

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	----------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
1256		猪田地区排水処理施設維持管理費	会計	10	農業集落排水事業特別会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	款	01	事業費
施策	3	農業集落排水の推進と整備	項	01	施設管理費
			目	01	施設管理費
			細目	101	施設管理費
			細々目	10	猪田地区排水処理施設維持管理費
基本計画該当頁	108	担当部課	コード	190200	評価者
行革大綱の重点事項番号		名称		建設部下水道課	氏名
					下水道課長
					松本 秀喜
					連絡先
					22 - 9821
					(内線) 2870

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
	猪田地区処理区域内の住民 (対象件数)	処理施設の適正な維持管理によって、家庭等からの雑排水や尿が、きれいな水に浄化されて排水されることにより、地域の公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全が図られる。
開始年度	平成 15 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	排水処理施設の設備や機械・装置等の保守・点検 浄化処理により発生した汚泥の処分 料金徴収事務	公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業 浄化槽法・水質汚濁防止法・伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例・同施行規則
状況変化等		平成15年8月1日に供用開始をして4年が経過しました。今後、施設の老朽化により機器等の更新が必要になってきた場合は、国の補助事業である「農業集落排水事業(機能強化対策)」で取組むことによって、維持管理費の節減に努めます。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
施設保守点検	回	目標	目標	52	52
		実績	実績	52	52
水質検査(2ヶ月/回)	回	目標	目標	6	6
		実績	実績	6	6
汚泥処分回数	回	目標	目標	12	12
		実績	実績	12	12
料金調定件数	件	目標	目標	2976	2976
		実績	実績	2460	2440
		目標	目標		
		実績	実績		

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(施設保守・点検、汚泥処分は、委託)
2 配置(予定)人員	0.3 人
3 年間運営費	13,458 千円
4 市内の類似施設	農業集落排水処理施設21施設 公共下水道、特定環境保全公共下水道施設6施設

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
排出基準達成率(達成回数/測定回数)	処理水の水質検査結果が、浄化槽法及び水質汚濁防止による排出基準、及び施設の目標放流水質基準を満たしていることが重要であり、水質検査測定回数に対する達成回数の比率を指標とすることによって、適正な維持管理ができているかを把握できる。	%	目標	目標	100	100
			実績	実績	100	100
使用料収納率(収入額/調定額)	適正な維持管理は、施設の健全な経営がなされて達成可能であり、維持管理経費の原資となる使用料の徴収率向上は、経営健全化及び適正な維持管理の達成度の指標となる。	%	目標	目標	100	100
			実績	実績	98.7	97.8

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に寄与し、市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業である。
有効性	4	汚水処理能力の保持には、適切な維持管理を継続的に行う必要がある。
達成度	3	排出基準内で放流し、区域内住民からの悪臭、水質汚濁等の苦情件数や施設の故障等による使用中止事件もなく、概ね適切に事業が遂行されている。
効率性	3	施設の機械・装置等の適切な点検・維持を励行することにより、動力費や修繕費等の低減を図る、委託業務の見直し等による委託料の減等コスト削減の工夫をする余地がある。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	当施設は、処理区域内の公衆衛生及び環境衛生の向上、また、公共用水域の水質保全に寄与しており、市民が快適な暮らしをするには必要な施設であります。このことから、維持管理経費の確保は不可欠であります。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容						
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)				
委託	工事	需用費	1	式	3,559	需用費	1	式	3,625	需用費	1	式	5,456	需用費	1	式	5,456
		役員費	1	式	368	役員費	1	式	361	役員費	1	式	399	役員費	1	式	399
		委託料	1	式	10,048	委託料	1	式	9,442	委託料	1	式	10,273	委託料	1	式	10,273
		その他	1	式	30	その他	1	式	30	その他	1	式	40	その他	1	式	40
進捗率(%)																	
事業投入人員		人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160
フルコスト(A)+(B)				16,165			15,618			18,328			18,328				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	17年度	18年度	19年度	20年度
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
受益者負担				
その他				
一般財源	14,005	13,458	16,168	16,168
計	14,005	13,458	16,168	16,168
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	施設使用料	施設使用料	施設使用料